

## 会 議 録

会議の名称	和泉市環境審議会（平成 30 年度第 1 回）
開催日時	平成 30 年 9 月 6 日 14:00～15:40
開催場所	コミュニティセンター1 階 大集会室
出席者	増田会長 巖副会長 池辺副会長 藤田委員 竹中委員 藤森委員 吉田委員 末下委員 松本委員 大谷委員 杉本委員 河合委員 辻林委員 井阪委員 石井委員 橋本委員 梁取委員 （以上 17 名 順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	<p>■議事</p> <p>（１）副会長の選出について</p> <p>（２）第四次和泉市地球温暖化対策実行計画について</p> <p>（３）和泉市環境基本計画について</p> <p>・第２次和泉市環境基本計画進捗状況（報告）</p> <p>（４）その他</p>
会議の要旨	<p>・副会長の選出（森氏の後任である町会連合会副会長の池辺氏が就任）</p> <p>・第四次和泉市地球温暖化対策実行計画の策定に向けての進捗報告（スケジュール、業務内容、省エネ診断の対象施設等）</p> <p>・第２次和泉市環境基本計画の概要説明及び平成 29 年度における数値目標設定施策の取組み状況の進捗報告</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
議事要旨 【主な意見等】	<p>（１）副会長の選出</p> <p>【会長】</p> <p>町会連合会の森様の後任として、本日新たに就任頂いた池辺委員に、副会長に就任いただきたいと思います。</p> <p>【委員一同】</p> <p>異議なし。</p> <p>池辺委員が副会長に就任。</p> <p>（２）第四次和泉市地球温暖化対策実行計画について</p> <p>【事務局説明概要】</p> <p>１．計画策定の背景・趣旨</p> <p>○背景</p> <p>「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条の規定に基づき、市町村は自らの事務事業に関し、温室効果ガスの排出量の削減等のための措置に関する計画を策定し、公表することが義務付けされていること、平成 27 年度末開催の COP21 において「パリ協定」が採択されたことなどを背景に、平成 30 年度中に『第四次和泉市地球温暖化対策実行計画』を策定する。</p>

	<p>○概要 省エネルギー診断を実施し、運用改善及びハード対策を行うこと、エネルギー管理システムの導入検討、照明の LED 化、公用車のエコカー導入率の向上などを計画に盛り込む予定。大きなポイントとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 40%削減すること</li> <li>・指定管理を含む市の事務事業すべてを対象として取組みを進めることが挙げられる。</li> </ul> <p>○スケジュール 8 月 7 日付でカーボン・マネジメント強化事業の補助金の交付決定。 8 月 20 日に指名競争入札を実施し、8 月 23 日に契約締結後業務開始。 省エネルギー診断を実施後、12 月末にかけて施策やマネジメント体制の検討、庁内会議、議会報告。 1 月末、今年度 2 回目の環境審議会にて諮問・答申。2 月に策定予定。</p> <p>○省エネルギー診断予定施設 本市の事務事業に関わる 179 施設の内、北部コミュニティセンター、温水プール、久保惣記念美術館、和泉中学校、総合福祉会館の 5 施設をモデル施設として省エネルギー診断を実施する予定。 選定理由としては、本市公共施設等総合管理計画で長寿命化による継続的な利用が見込まれる施設であること、学校教育系施設の排出量対策の検討等により、調査結果を最大限活用するため。尚、事前に図面等で分析を進め、9 月末頃に実際に施設に入り診断を行う予定。</p> <p>【会長】 非常に短期間に、温室効果ガス排出量を 40%削減することを目標とされていますが、目処はたっているのでしょうか。</p> <p>【事務局】 再生可能エネルギーの活用や、賛否両論はありますが原子力発電の稼働状況等により、発電に係る排出係数が現況値より下がる見込みとなっており、概ね 10 数%削減できれば、40%削減の目標に到達できると聞いております。 但し、10 数%の削減にも大変な努力が必要となりますので、省エネ診断等によりどこまで削減できるのか根拠付けを進めていく予定です。報告は次回の環境審議会にて提示いたします。</p> <p>(3) 第 2 次和泉市環境基本計画進捗状況について</p> <p>【事務局説明概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○和泉市環境基本計画は、環境基本条例の基本理念に基づき、環境保全に関する総合的な取組みを進めるため、平成 13 年 9 月に 1 次計画を策定し、平成 28 年 3 月に 2 次計画の見直しを行った。</li> <li>○この計画は、和泉市環境基本条例の基本理念に基づき、すべての人が一体となって自然と共生し、環境への負荷が少ない循環を基調とする社会の実現を目指して、環境の保全に関する取組みを進めることを目的としている。</li> <li>○新たに就任された委員の方もいるため、平成 28 年 3 月に策定した「第 2 次和泉市環境基本計画（中間見直し版）」を使用して概要を説明。</li> <li>○平成 29 年度における計画の進捗状況について、主な環境施策をピックアップする形で報告。</li> </ul> <p>【委員】 項目 8 番（大気質、水質、土壌について、今後も引き続き測定調査を実施し、必要に応じて適宜調査地点の見直しを行います）の水質の環境基準達成率につき、何を達成しているのでしょうか。また、項目 10 番（市内の主要な地点において今後も引き続き騒音の調査を実施し、必要に応じて</p>
--	---

	<p>適宜調査の地点の見直しを行います）の騒音基準達成率が 15%程度下がっているのは何が原因なのでしょう。</p> <p><b>【事務局】</b>  水質については市では BOD を年 4 回計測し評価しており、各河川の基準を満たしているかどうかを判断しております。水量の増減によって変動があり、渇水時の方が BOD の値は高くなる傾向があります。</p> <p>騒音については毎年調査箇所を選定しており、5 年で 1 周するように調査箇所を変更しています。このため、国道 26 号沿い等調査箇所によって基準を満たさないことがあります。</p> <p><b>【委員】</b>  最終的には総合的に判断する等が必要と思われます。</p> <p><b>【事務局】</b>  最終的には総合的に判断していきたいと思います。</p> <p><b>【委員】</b>  項目 7 番（絶滅が危惧される生物や天然記念物の生息・分布状況を把握し保全に努めます）の説明において、カスミサンショウウオが信太山にいるということで、こういった保護活動をしているのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b>  信太山丘陵市有地保全協議会において、会長を含む学識経験者や NPO 等とともに、カスミサンショウウオの生態に詳しい方から指導を頂きながら、落ち葉の除去等産卵場所の確保などの作業を進めています。</p> <p><b>【会長】</b>  活動場所としては 2 箇所あり、一つは事務局から説明のあった市有地で、もう 1 箇所は大阪府のトラスト運動で管理している惣ヶ池湿地で活動しています。卵塊が担保できる水溜りの整備などを進めています。</p> <p><b>【委員】</b>  項目 14 番（家庭から発生するごみの減量化を促進します）、15 番（エコオフィス活動の取組を啓発し、事業活動におけるごみの減量化を促進します）において、家庭ごみの量が 33,628t に増加している原因として、平成 29 年 10 月に発生した台風の影響があるのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b>  台風の影響はなく、通常の生活の中でのゴミの増量でございます。和泉市では平成 27 年度にごみの有料化が実施され、平成 27 年、28 年には 16.7%ほどごみが減量しておりましたが、平成 29 年度にリバウンドが起こり増えつつある状況となりましたので、平成 30 年度ごみの減量作戦など色々展開し減量に努めております。</p> <p><b>【委員】</b>  3 点質問があります。10 番の騒音に関する項目につき、達成値が 71.4%と平成 21 年度の現況値と変わらない実績値であるにも関わらず、達成度が 1「高いレベルで達成できた」と言ってよいのかどうかお伺いしたいです。</p> <p>また、項目 13 番（府の「エコショップ制度」について情報提供を行い、登録を促進します）のエコショップ制度についてですが、平成 21 年度に 32 店舗あったものが現在は 16 店舗となっていますが、府の制度が平成</p>
--	---

	<p>25 年 5 月に廃止し、市が継承した後も実績なしのまま継続している経緯等について教えて頂きたいと考えています。</p> <p>併せて、第二次和泉市環境基本計画（見直し版）31 ページのエコショップ制度等の文言の上に記載のあるアスタリスクについて教えて頂きたいです。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>騒音については、毎年 7 箇所で開催しています。昨年度実績値が減少したのは、平成 28 年度では 7 箇所中 6 箇所が環境基準を満たしていましたが、平成 29 年度では 7 箇所中 5 箇所の達成となったことによるものです。7 箇所の内、2 箇所が達成できておりませんが、70%以上環境基準を達成できたため、達成度 1 という評価をしています。</p> <p>エコショップ制度についてですが、平成 27 年度末に第二次和泉市環境基本計画の中間見直しをする際関係各課に照会を行っております。当時の各課におけるヒアリングの結果、エコショップ制度も継続していくという意向がありましたので記載しています。当時の見直しでは、中間見直しということもあり、項目をなるべく廃止しないという趣旨で見直しを行っているため現在も残っておりますが、第 3 次計画の策定時には削除する可能性があるものと考えております。</p> <p>アスタリスクについては、見直す前の第 2 次和泉市環境基本計画では、特段説明が必要と思われる文言については用語集を作成しており、そのときの名残で残っているものです。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>用語集を添付しないのであればアスタリスクを削除頂き、用語集が必要と言うことであれば、用語集をアップロードし情報提供頂いた方が、市民の皆様にもご理解頂けると思われます。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>ホームページで第 2 次和泉市環境基本計画の中間見直し版を公表しておりますので、用語集をアップロードし、公表させて頂きます。</p> <p><b>【会長】</b></p> <p>項目 27 番（「テクノステージ和泉まちづくり協議会」を核として、工場間の連携を通じた省エネルギー化への取組を促進します）、項目 31 番（ため池を活用した水辺環境の整備を進めます）について、地権者や管理者による費用負担があるということの実績が上がらないということですが、行政からも何らかの啓発していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>テクノステージにおけるスマートエネルギーの活用推進に関しては、元々停電時等でも自活できるよう、事業者間で費用負担し太陽光パネルや蓄電池等を設置してはどうかといった趣旨で検討していたものです。検討時、各事業所で既に太陽光パネル等を設置している事業者が多かったため、費用負担以前に話に乗りたくても乗れない事業者が多かったことが、実績がなかった要因の一つと考えています。</p> <p><b>【会長】</b></p> <p>省エネルギー化の推進については「共同化」を進めるより、「個別化」が進んだ結果実績がないという経過が分かるような記載があったほうが良かったかもしれません。</p>
--	---

	<p>【委員】 太陽光電池について、どの程度蓄電可能なのでしょうか。</p> <p>【事務局】 容量によって異なるので一概には言えません。ただ、スマートエネルギーの導入検討の際には、非常時には民家にも送電できるような想定で、業務用のかなり大規模なものを検討しておりました。</p> <p>【会長】 項目 52 番（貴重な樹木については、天然記念物に指定し、保全します）の貴重な樹木の天然記念物への指定に関しては、所有者合意があるので中々指定が進んでいないことですが、行政として普及啓発について一度検討して頂ければと思います。</p> <p>【委員】 項目 55（公共施設における節水に勤めます）という項目についてですが、実際どのように節水を進めるのでしょうか。</p> <p>【事務局】 手洗いの場所の整備が大きいと思います。例えば、市庁舎 3 号館の手洗いは、自動で水を停める機器や、節水コマのようなものを設置し、あまり水が出ないようにする等の工夫をしています。</p> <p>（４）その他について</p> <p>【会長】 熱中症対策に対する取組みについて、市の環境課としてどういったお考えをされていますでしょうか。例えば安部政権では小学校の空調の 100% 設置を目指すように言われていますがいかがでしょうか。</p> <p>【事務局】 和泉市では大阪府のヒートアイランド対策推進計画に準じた形で進めていく必要があると考えています。教育委員会に確認したところ、2 年程度の期間をかけて、全小学校に冷房を設置していきたいと聞いておりますので、期待したいと考えております。</p> <p>【委員】 台風 21 号により発生したごみに対する対応や、1 ヶ月間は有料のゴミ袋以外でも回収しますといった特別対策のようなものを和泉市では検討されていますでしょうか。</p> <p>【事務局】 9 月 5 日付で、校区長及び町会宛に災害で飛来したガレキ等の災害ごみについて、町会や自治会で集積場所を決めていただければ、市の方で無料回収させて頂く旨のご案内をさせて頂いております。また、ホームページでも同じ情報を公表しております。</p> <p>【委員】 9 月 5 日付で災害ごみの回収について通知頂きましたが、12 日までという短い期間で集積しなければならないとのことでした。ホームページで公表されているとのことですが、中々ホームページを見られる方もおらず、1 週間では回覧を回すにしても期間が短いので、できればもう少し余裕をもって周知いただきたいと思いますと考えております。</p>
--	--

	<p>【会長】 ホームページというのは、まだまだ限られた伝達媒体であり、市民の方々に上手く伝わる情報提供手段を市で検討いただければと思います。</p> <p>【委員】 今回の資料の中に、環境マネジメントシステムについての資料がなく、前回の審議会で質問させて頂いた紙の購入量の削減について、平成 29 年度の実績が報告されておりましたが、実績はまだ出ていないのでしょうか。</p> <p>【事務局】 平成 29 年度実績は既に出しております。後日回答させていただきます。</p> <p>【会長】 その他の案件も含め、本日の案件はすべて終了したと思われます。皆様方のご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---